事例No.	2352
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	魚住まちづくり協議会

事例区分	地域活性化

タグ	・地域運営組織 ・組織改革 ・消防・防災

事例種類	地域運営組織

事例内容・タイトル

地域運営組織の持続的な運営に向けた
取組（魚住まちづくり協議会）

出典

地域運営組織の持続的な運営に向けた取組事例集

うおずみ
魚住まちづくり協議会 ①

06

【概要】

立地自治体		兵庫県明石市	人口規模		約12,600人
設立年度		平成27年度	活動エリア		小学校区と一致する
構成	構成団体	応援隊：102名 自治会 地域活動団体、 教育・福祉等	法人格の有無		無
			体制		役員とは別の事務局体制を確保
			詳細	役員	12名（うち常勤・有償2名、非常勤・無償10名）
	協力団体	教育・福祉等		役員以外	7名（常勤・有償7名）
			ホームページなど		https://uozumimachikyo.com/

【具体的な活動内容】

【ふれあい・交流】

- まちの将来像「世代間交流があたりまえのまち」の実現に向けて、うおずみ祭りや左義長、敬老会イベント、くすのん文庫、みんなde菜園などのふれあい・交流活動を実施している。





【ふるさと・未来】

- 学校と地域が協働して「子どもを育む」コミュニテイスクール事業を本格化し、将来の地域を支える人材育成を目指している。
- 具体的には、まちづくり協議会が中心となり、総合学習の時間を活用した授業への参加や出前授業等の実施、子どもが企画する地域イベントへの参加なども行っている。

【みまもり・安全】

- 「子どもが安心して学び、遊ぶことができるまち」や「高齢者も障がい者も安心して住み続けられるまち」、「地域の防災、要援護者対策など、地域と人が安全安心を共有しているまち」の実現に向けた取組を実施している。
- 防災訓練・防災懇談会など（校区自主防災対策本部）
- スクールガード、青パト乗車（通学路安全対策会議）





出典：魚住まちづくり協議会　資料

うおずみ
魚住まちづくり協議会 ②

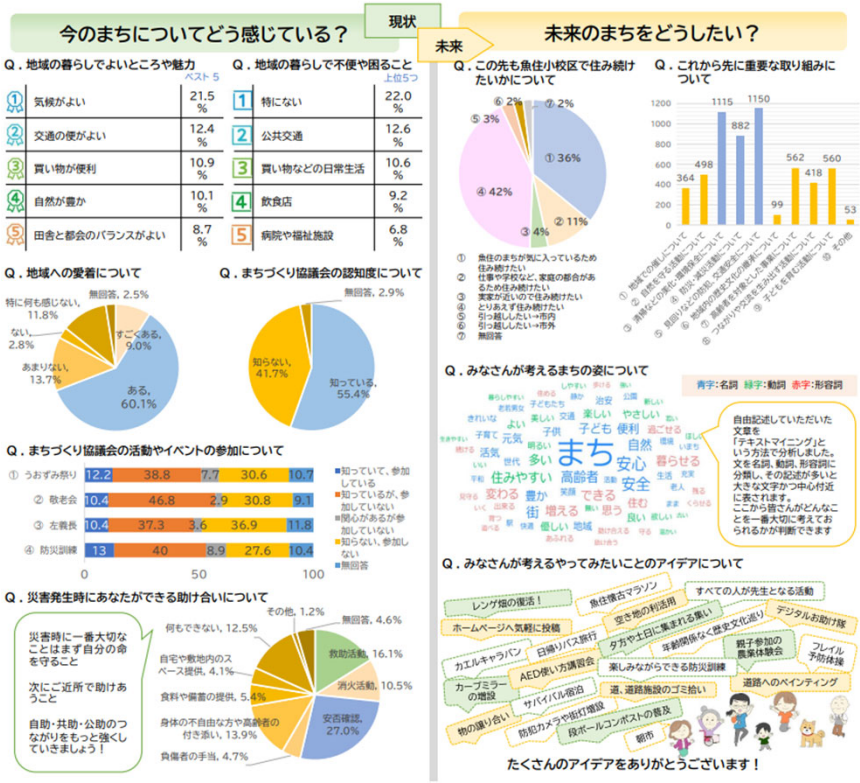
06

【地域計画（ビジョン）の策定・見直しに向けた取組事例】

取り組み	多様な世代に対するアンケート調査を通じて、既存事業の評価を実施し、その後の活動に反映
経緯・狙い	• 平成27年度に「まちづくり計画書」を作成し、事務局体制の充実を図りつつ、PDCAサイクルのなかで3年ごとの見直しを行っているが、組織の硬直化やメンバーの固定化・高齢化が課題となっていた。 • コロナ禍に伴う自治会等を含めた地域活動の停滞を契機として、今までの活動成果を振り返りながら、今後の活動へつなげるとともに、新しい人材の発掘を行うなど、協議会の組織・活動をステップアップさせることを目指した。
取組の概要	• 10年先を見据えた取組の方向性を検討するにあたって、魚住小学校区の全住民を対象として実施したアンケート調査の結果を踏まえて、役員間で話し合い、今後の活動方策を検討した。 • 住民の「やりたいこと」を新しい活動につなげていくための具体的な取組として、参加した方が今後やってみたい取組やアイデアを自由に話せる「くすのん広場」を定期的に開催した。 • 当初はコミュニティセンターを主な開催場所としていたが、認知・普及の高まりを受けて地域の様々な場所で話し合いの場を持つ動きに繋がった（サテライトくすのん）。
成果	• 出されたアイデアをもとに、プロジェクトチームが主体となり実現した活動がある（鴨谷掘割緑地公園清掃など）。
今後取組みたいこと	• 一部の部会をプロジェクトチームに再編する場合や、従来通りの部会を残す場合があるなか、新しい担い手が関わりやすく、柔軟に活動できる組織体制の実現に向けて、引き続き、協議会のステップアップに取り組む。







出典：魚住まちづくり協議会　資料